

新たな門出 令和5年積丹町二十歳の集い



▲誓いのことば (岡本さんと本間さん)



▲記念品贈呈 (高野さん)

1月8日、令和5年積丹町二十歳の集いが総合文化センターで開催され、華やかな振り袖やスーツ姿の二十歳を迎える参加者10人の新たな門出を祝いました。家族や来賓に拍手で迎えられた参加者一人ひとりの紹介の後、十河教育長の挨拶、松井町長と岩本議長からそれぞれ励ましの言葉を受けました。

参加者を代表して高野夏海さん(野塚町)に記念品が贈られ、岡本夏樹さん(美国町)と本間桃奈さん(美国町)が、「新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、この日を迎えられたのは、温かく育み、支えてくれた両親や家族をはじめ、ともに歩んできた友人、ご指導していただいた先生方や地域の皆様、これまで関わってくださったすべての方々のお陰であることを感謝し、これからは、大人として、いま一度自己を見つめ直し、これからの時代を担う、社会人の一人として、責任と義務を果たしていきます。」と力強く誓いを述べました。

また当日は、美国婦人会(魚屋友子会長)から手づくりの「赤飯」が、野塚町の私有林で森の管理や自然体験活動等を行っている森林保全活動団体の積丹グリーン(森田信道代表)からは、町内の木材を活用した「記念コースター」がプレゼントされました。

町内外でそれぞれの道を歩む二十歳の皆さんの活躍を期待しています。